

令和 7 年 9 月川口市議会定例会

9 月 3 日 (水) 午前10時から開会予定

日本共産党市議団は、暮らしや平和を守るため市民のみなさんの声を市政に届け、市民の要求実現に向けご一緒にがんばります。

●令和 7 年 9 月定例会の日程●

9 月 3 日 (水)	開会
9 月 12 日 (金)	一般質問
9 月 16 日 (火)	
9 月 17 日 (水)	
9 月 18 日 (木)	
9 月 19 日 (金)	
9 月 24 日 (水)	常任委員会 (環境経済文教) 常任委員会 (建設消防)
9 月 25 日 (木)	常任委員会 (総務) 常任委員会 (福祉保健)
9 月 30 日 (火)	閉会

それぞれ午前10時から開会する予定となっております。日程は予定であり、変更となる場合もあります。
なお、正式な日程は、8 月 29 日 (金) に開催が予定の議会運営委員会で協議されます。

傍聴を希望される方は、本会議は傍聴受付 (第一本庁舎 8 階) に、委員会は議会事務局 (第一本庁舎 7 階) です。本会議の審議の様子は、インターネット中継でも視聴できます。

9 月の
無料
法律相談

◎日時 9 月 9 日 (火) 18 時～

◎会場 日本共産党埼玉南部地区委員会事務所 2 階
事前に電話予約の上、お越しください。なお、申し込みの際は氏名、電話番号をお伝えください。当日は筆記用具などをご持参ください。相談希望の方は党市議会議員、または下記電話までご連絡下さい。

主催：日本共産党川口市議会議員団
川口市前川 2-28-10 電話 048-267-8411

サンテピア・わかゆり学園の今後について 民営化等の方向性を特別委員会で示す

8 月 19 日に開催された保健医療・子ども家庭支援等福祉対策特別委員会に報告された内容を紹介しします。

〈福祉部が抱える課題〉

①川口市社会福祉事業団への指定管理料 (介護・生涯関係毎年度約10億円) 福祉予算に大きく影響 ②官民の役割の変化、サンテピア及びわかゆり学園の老朽化を踏まえ、民営化等による大幅な事業縮小・廃止が不可欠 ③特別養護老人ホーム「さざんかの郷」の老朽化や敷地の賃貸借契約終期が迫っており、同規模の施設整備が必要
➡課題解決に向けた取組効果 (指定管理料の削減等) を原資とし、多様化していくニーズに合せた福祉施策の展開を検討

〈取組のポイント〉

- ①事業〈社会福祉事業団〉●特別養護老人ホームの民営化 (サンテピア100床・さざんかの郷50床も含めた整備) ●民間だけでは充足することが困難な障害福祉 (重度障害者に特化した生活介護事業等)・介護 (認知デイ) サービスに重点化し、指定管理業務を段階的に縮小
〈わかゆり学園〉●市直営事業を段階的に縮小・廃止 (一部事業は、社会福祉事業団へ委託または指定管理を検討) ➡民間事業所の整備状況や学園の実態を踏まえた、児童発達支援センターの縮小、生活介護の縮小、児童発達支援・就労支援事業所の廃止
- ②施設 ●サンテピアとわかゆり学園を一体的に再整備 民営特養の建設等、接道や用途地域など整備に係る諸課題を整理した上で、現在の敷地及び市有地を最大限活用した施設整備を検討
●将来的な建替えや民営化等に対応するため、事業ごとに独立した施設とすることを基本
- ③職員体制

〈社会福祉事業団〉事業の段階的な縮小に併せ、人員配置の適正化
〈福祉部〉わかゆり学園の直営事業の段階的な縮小・廃止で余剰人員を有効活用
サンテピアの見直し➡特別養護老人ホーム (用地、施設を自前で用意し、事業運営を行う民間事業者を公募。民間事業者がすでに運営している他の入所施設等との集約化など多様な手法による参加を可能とする)。養護老人ホーム・ケアハウス (民間での運営が可能な事業、規模を縮小し公募による民営化。現在の入居者は移転)。
わかゆり学園➡児童発達支援センターの見直し (成人と子どもの施設を分離する) 属性に関わらず利用・交流の場としてコミュニティを創出する目的の多世代交流施設との合築で差間地区に整備

原水爆禁止世界大会 長崎大会 分科会～反核平和の文化～

被爆80年、原水爆禁止世界大会の長崎大会には日本共産党川口市議団から金子幸弘、松本幸恵が参加しました。私は、8日の分科会では「反核平和の文化」に参加しました。分科会会場の長崎大学の教室に行くと参加者はそれぞれ8～9人の小グループに分かれて座り、主催者から説明を受けました。各グループで司会と書記を選出、私はそれぞれの意見を書き取り、大切な部分にスポットをあてることができると考えて書記に立候補しました。各グループで①それぞれの自己紹介、②核廃絶のためにどのようなことが必要と考えているかを出し合いました。

私が参加するグループでは「被爆者の証言を伝えるうえで、初日の合唱は核廃絶のための闘いにとって大きなプラス」との意見が出されたことを皮切りに「映画や小説の力も大切」「地元に戻って報告会をやるが自分が撮った写真だけでなく被爆者の証言など動画も活用したい」など意見が出されました。そうした議論を受けて、私たちの討論テーマを「いかに継承していくか」として、さらに討論をしました。

千葉土建として参加したという3人の組合員さんのうちの一人は「自分たちは会場の長崎大学まで市電で来たけど、隣に座っていた高齢の女性の腕には大きな火傷のような跡があった。質問するわけにはいかなかったけど、もしかしたら、子どものころ8月9日の被爆によるものかもと感じた。降りてからそのことを3人で話しながら来た」「初めて世界大会に参加したが、衝撃的なことばかり、帰ってからも今の気持ちを続けさせたい」と話しました。

各グループからの発表で私は、この方の発言を紹介して「原爆投下の日のことを想像して、被爆者に心を寄せ、その思いを仲間と話し合い、そして地元に戻ってから報告するという、こうしたこと自体も、歌や小説、映画のような「文化」ではなくても、立派な反核平和の文化の一つではないか」と報告しました。

最後に全体で意見を出し合いました。参加者からは「広島や長崎では1年中、被爆者による被爆の実相を伝え、継承するための取り組みがされている、世界大会に参加した私たちは被爆地に来た時だけでなく、地元でもそうした役割を発揮したい」との思いが出されました。



原水爆禁止世界大会 2025 in 広島・似島

核兵器の廃絶を目指す世界的な平和運動の一つである原水爆禁止世界大会が8月4日～9日に広島と長崎で開催されました。どちらの会場でも全体会の他に分科会があります。その中の一つ「似島少年少女のつどい」にふじしまともこ市議が参加しました。

似島は広島港からフェリーで15分ほどの所にある島で「安芸の小富士」と呼ばれる特徴的な山がある美しい島です。日清戦争の時に陸軍の検閲所になり、日露戦争の時には捕虜収容所も作られ第二次世界大戦時には規模を拡大し馬匹検疫所や弾薬庫などが次々と建設されました。原爆投下の直後からは広島から負傷者を受け入れる救護所になっていました。似島に運び込まれた被爆者は1万人以上と言われます。亡くなる人が多すぎて、まとめて焼却炉で焼くも間に合わなくなり防空壕に入れて埋めたりしていました。似島は侵略戦争に加担した加害と原爆による戦争被害の2つの側面をもつ島として平和学習の場となっているのです。

この度の分科会の一行は50人ほどで少年少女は6人しかいませんでした。朝8時半に集合し、フェリーで渡航しました。班に別れてそれぞれ引率者について島の見学コースを回りました。山道と思っていた場所で80年前に壘として築かれた物の上に居るのだと教えられ、藪の中に銃座のついた物見台が出てきたり、コンクリートの大きな壁が見えたりしました。小さな島に大きな軍事基地があったのだと分かります。かつては弾薬庫があったという場所は山の中の窪地になっているだけでした。建物は20年くらい前に老朽化を理由に突然撤去されたそうです。まるで国が「見ないでくれ」と言っているようでした。海辺に残る3つの栈橋は兵士を大陸へ送る用が2本と大陸から帰ってきた兵士を迎え用が1本あり、検閲の島らしく感染対策として分けられていました。昔から人が住んでおり今も学校がありますが、戦時下においては総てが軍事機密で地図からも消されていました。戦争に翻弄された島です。広島で被爆した方が大勢ここで果てて勢が一緒くたに葬られました。広島で行方不明の人をずっと探し続けていた人も居たことでしょう。胸が痛みます。似島には慰霊碑があり広島の平和公園内の原爆供養塔にも似島で発掘された遺骨が納められているそうです。

蒸し暑い中、虫に刺されながら歩いたのですが冷えたドリンクが配られるなど、配慮がありました。ガイドをしてくれた方々は学校の先生や退職教員の方々に団体の引率や教え方がとても上手く、素晴らしかったです。